

小規模多機能ホーム福ちゃんの家

平成29年度 第5回 運営推進会議

開催日時 平成30年1月13(土) 14:00～

開催場所 福ちゃんの家 2階コミュニティルーム「TSUDOI」

運営推進委員

下荒井町内会長	堀江 達郎 様	
下荒井地区民生委員	吉野 洋美 様	
七郷地域包括支援センター 所長	矢野 直美 様	
すず薬局六丁の目店	柳 利樹 様	
堀田 修クリニック		
福ちゃんの家 利用者家族代表	高橋 博 様	
福ちゃんの家 職員	叶内 亜紀	堀田 茉佑

議 題

- 1、 福ちゃんの家より報告
- 2、 下荒井町内会様より
- 3、 七郷地域包括支援センター様より
- 4、 民生委員様より
- 5、 すず薬局様より
- 6、 堀田 修クリニック様より※今回欠席
- 7、 その他 報告・連絡 など

1、福ちゃんの家より報告

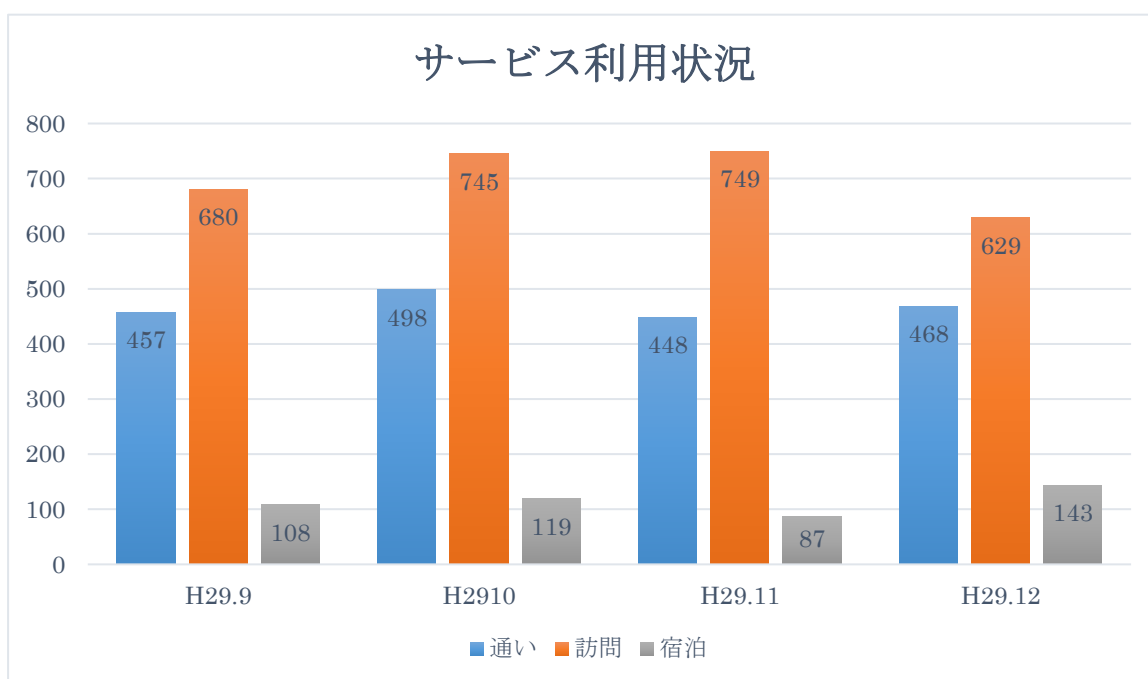
(1) 事業所の登録状況 (平成 30 年 1 月 9 日 現在)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男 性	0 名	0 名	5 名	1 名	0 名	0 名	0 名
女 性	0 名	0 名	8 名	4 名	3 名	3 名	1 名
合 計	0 名	0 名	13 名	5 名	3 名	3 名	1 名

合計 25 名登録 ・ 平均要介護度 1.96 ※要支援者は含まず

自費利用：要支援 1-男性 2 名

要支援 2-男性 1 名・女性 1 名



- ・ 利用契約終了

- ・ H 様 -

84 歳・女性・南小泉。前回の会議でご紹介させて頂いた方。

通いに対し敬遠あり、訪問対応を続けておりましたが、11 月 12 日早朝にご逝去。

利用契約終了となりました。

- ・ 新規利用契約

- ・ E 様 -

60 歳・女性・沖野。要介護 2。脳梗塞にて左片麻痺あり。若林病院に入院されていましたが 12 月末に退院。娘夫婦・母と同居されていますが、娘夫婦は日中仕事で不在となり、出来る事も母に頼り自らはしないこと、薬の飲み忘れがあることなどから、週 3 回の通い(入浴・他者交流・リハビリ)と訪問(内服確認)にて 1 月 9 日より利用開始しています。ご家族様からの情報では朝 10 時くらいに起床するというお話がありましたが、初回訪問時には朝 7 時に起床され朝食摂取・薬の内服もご自身で行われたと本人より報告あり。

脳梗塞の既往の他、膠原病・全身性エリテマトーデスの現病があり、体調に注意しつつ活動参加を継続できればと考えています。

(2) 事業所の事故報告（平成 29 年 11 月 11 日～平成 30 年 1 月 10 日）

上記期間での事故報告について報告いたします。

事 故 項 目		
転倒 ・ 転落	1	ご家族様と来所中、一人で歩かれ転倒
誤飲 ・ 誤嚥		
切 傷 等		
そ の 他		
車 輛 事 故		

ひやりハット報告

ひやりハット	13 件	転倒・転落のおそれ 3 件 誤薬のおそれ・内服関係 3 件 入浴 1 件 訪問送迎 2 件 その他 4 件
--------	------	--

(3) 事業所活動報告





(4) 事例報告

F様(89歳・女性・中倉)

毎日の通いと週2回の宿泊を利用中の方。ご利用前よりお金を持たずに外に出て買い物をし、ご家族が後ろをついて行きそれを支払ったり、家族に対して妄想的な話をしたりすることがあったとの事です。認知症の進行に伴い、妄想や幻聴の訴えが多く聞かれるようになっていました。ご家族様それぞれ疾患や障害をお持ちであり無理が出来ず、主たる介護者の方も眩暈の病気がありストレスがたまると起きられなくなるとの事で、家族が出張の時には追加での宿泊希望あり対応していました。

12月に入り、夜間「誰かが降りてくる、そこを歩いている、自分の名前を呼んでいる」などの話にて外に向かって声を掛け続けたり、ご家族様に対して暴言を吐かれたりし、ご家族様ご本人様ともに不眠状態となり、その中で主たる介護者の方の方からつい手をあげてしまったと報告があり、宿泊日ではありませんでしたが、ご家族様と相談の上同日より2泊3日の宿泊対応となりました。宿泊当

日はご本人様も興奮状態であり「叩かれたんだ」と他者に話されたり、「誰かが私の名前を呼んでいるんだ」「神様が降りて来たんだ」「これ(椅子)は神様だから挨拶しなくちゃいけないんだ」と落ち着かずに歩き回られたりと夜間も興奮気味に過ごされていました。翌日は連日の不眠状態からか傾眠気味に過ごされ、食事の時以外は休まっている状態でした。ぐっすりと夜間まで休まれ、覚醒された後からは妄想や幻聴は残っているものの、他者の都合を顧みないような行動は減り、いつものF様に戻られ、帰宅されています。ご家族様にも宿泊中の様子を報告。ご家族様も宿泊中ゆっくり休めたと体調落ち着かれたご様子でした。

在宅での生活の継続の為、双方のストレス軽減の為のレスパイト事例となりましたので、今回報告させていただきます。

(5) 新入職員紹介

阿部弘美	今野麻里子	斎藤真理子
実務者研修終了	実務者研修終了	実務者研修終了

尚、昨年より務めており、会議にも何度か参加していた手塚美英子が 1/10 付で退職となりました。

【報告内容について】

- ・料理教室に対する利用者の反応について

Q.いつも参加して下さる方々は同様のメンバーですが、皆さんの反応はどうでしょうか

A.事前に説明し、参加に同意いただけた方やもともとお料理好きな方は積極的に参加されています。

もともとあまり好きではない方や、説明を忘れられ、たくさんの方が来たことに驚かれる方も中にはいらっしゃいます。無理に参加は進めず、ご自身のペースで過ごして頂いています。

- ・今後の支援の方の受け入れについて

Q.現在支援の方が自費利用となっており、相談者で登録いっぱいになる見込みとの話だが、今後自費での支援の受け入れは可能ですか(相談したい人がいるが…)

A.今後も受け入れはあるものの、具体的な人数については代表と相談し返答させていただきます。

【下荒井地区町内会長・堀江様】

活動・行事については変わりなし。ぜひ事業所からも地域の活動に参加してほしい。どんな人が何処に居るか、全体で把握できればと思う。

町内でも高齢者が毎年 15 人くらいずつ増えているので、今後どうしていくかが課題。今月 22 日の役員会でも矢野さんに地域の医療・状況について話してもらおう予定。「ここにこういう人がいるよ」というのを地域で把握し自助・共助の間に【近助(近所)】を入れて欲しい。理想。

現在この地域も福祉委員 2 名民生委員 1 名で回している。増やしたいがしてくれる人もいないという事が現実。

【下荒井地区民生委員・吉野様】

昨日民生委員の定例会があった。自身も民生委員となり 1 年 1 ヶ月が経った。自分が担当していた地区は「地域で見守る」というのを積極的にしている地区であるが、今後は積極的に自分からも動いていきたいと思う。要援護者で登録している人がいる。しかし七郷地区民生委員では今 7 人の欠員が出ている。どなたかいい人が居たら紹介してほしい。(体制を整えてきちんと対応できれば…) また 6~7 月に 3 年に 1 度の 75 歳以上の一斉調査がある。

【すず薬局六丁の目店・柳様】

先日つむぐカフェに薬局として参加。地区の方の実際の悩みを聞き、業務に活かせた。薬に関心がある方も多し。個室対応だとよりお話しくださる。地域の方により密着できればと思う。

【七郷地域包括支援センター・矢野様】

下荒井の地域ケア会議があった。報告の間に「俺たちがこうなったら…」という話も上がったが、これからは「自分たちがなったらどうだろう」という所に注目していきたい。現在は地域包括ケアを飛び越えて共生社会となってきた。

また、包括に寄せられる相談について、件数的には落ち着いているが中身が濃い。多重問題を抱えている人が多い。相談が遅くなって、問題が重なり、対応も長引く傾向。

また高齢者の運転の問題について、「やめさせる」ではなく「自分たちがそうなった時にどうか・辞められるかどうか」を踏まえ考えてほしい。自覚の問題もある。しかしいざ車がなくなると大変であり、そこに対してどういうサービスが必要かも検討していく必要がある。

《活動紹介》

運動教室・2/1 より毎週木曜

サロン支援者とケアマネの合同研修会 2/2

七郷 men's クラブ 月の始めと終わりの水曜日

【利用者様家族・高橋様】

自分の住んでいる地区の民生委員が誰か、知らない地区もある。

相談先が分からない。特に古い地域だと、他の所からあまり入れず、もともといる人たちの中で持ち回りで回っている事もある。